

# KIDS SMILE LABO JOURNAL *March*



## 次の季節へ向かって

この一年という時間の中で、子どもたちは多くの「はじめて」に出会い、心を動かしながら日々を重ねてきました。何気ない日常の中にある発見や喜びを味わいながら、それぞれのペースで、少しずつ自分の世界を広げています。

ふとした表情やしぐさの中に見える小さな変化。大きくなったと感じる、その確かな成長。子どもたちの吸収力の豊かさに触れるたびに、そのやわらかな心の土壌を感じます。

そうした育ちの時間の中に、自然と流れているのが「遊び」です。試し、迷い、誰かと関わり、またやってみる。その繰り返しの中で、子どもたちは少しずつ、自分なりの答えに出会っていきます。

そして、その時間にそっと寄り添う大人の存在もまた、子どもたちの世界に静かに影響を与えています。まなざしや言葉、在り方のひとつひとつが、子どもたちの中に積み重なっていきます。

進級を迎え、これからまた一つ大きくなる子どもたち。その子らしく伸びていく先で、どんな瞬間に心を動かしていくのでしょうか。

まもなく始まる新しい一年の時間を、これからも近くで見つめながら、その歩みに寄り添っていきたいと思います。そして、その日々の続きがどんな景色を見せてくれるのかを、今から楽しみにしています。



〈もりもり〉の愛称で親しまれている、KIDS SMILE LABO の園長。5歳と2歳、二児の父でもあり、保育と子育てに日々真摯に向き合っている。趣味は写真撮影で、愛用のカメラは Nikon Zf。彼の生み出す、優しくて愛で溢れる世界はnoteにて随時更新！子育てや保育への想いも語っています。

保育園 KIDS SMILE LABO 園長 森 誉



### 01 / Top ページ

2025 年度が終わり、  
また次の季節へと移りゆきます。

### 02 / 見て、触れて、感じた 地球のふしぎ

卒園遠足で訪れた「生命の星博物館」  
での様子をピックアップ！

### 03 / 乳児クラストップック

いよいよ3月。  
心も身体もぐんと成長しましたよ。

### 04 / 第5回 卒園式 やってみたいをカタチに

卒園児は6名の卒園への取り組みを  
どうぞご覧ください。

#### “キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。  
普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

# kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo @kidssmilelabo KIDS SMILE LABO @KIDS\_SMILE\_LABO

Over the past month, each class has been bustling with activity. Our homeroom teachers have carefully crafted these class reports with great affection. We invite you to enjoy reading about their journey. This is the page for the classes of children aged 3 to 5.

# Minamo Ozora Daichi

## 見て、触れて、感じた 地球のふしぎ

今年度 19 人で行く最後の遠足は、小田原にある「生命の星・地球博物館」へ。自然の中で日々過ごしている子どもたちにとって、「地球」という存在や歴史に触れ、興味関心を広げる機会になればという想いで訪れました。館内に入ると、全長 15m のチンタオサウルスが出迎えてくれ、その大きさに目を輝かせながら、早く展示を見たいという気持ちが高まっていく様子が見られました。

初めは隕石や宇宙の展示へ。実際に触れたり、嗅いだりする中で、「宇宙のにおいがする!」「お金のにおいがする!」と感じたことをそのまま言葉にしたり、琥珀を見て「焼き芋みたい」と見立てたりと、それぞれの感覚で世界を捉える姿が印象的でした。化石や生き物の剥製の展示では、「歯がするどいね」と気づいたり、「かわいい!」とその存在に惹かれたり。剥製とともにその生き物の鳴き声を聞くことができる展示では、オランウータンやチンパンジーの鳴き声にじっと耳を傾け、その命の気配に引き込まれていく子どもたちでした。

またジャンボブックの展示では、カメのお腹からゴミが出てきた展示を見て、「みんなに伝えたい」と話す姿もあり、見たことが自分ごととして心に残っていることが感じられました。

今回の遠足を通して、子どもたちは見て・触れて・感じたことを、それぞれの言葉や感覚で受け取り、興味を広げていく姿が見られました。一人ひとりの感じ方の違いも含めて、豊かな経験として、それぞれの心の中に残っていく時間となったことでしょう。

*text by Reiji Akamatsu*



神奈川県立生命の星・地球博物館

250-0031

神奈川県小田原市入生田 499

<https://nh.kanagawa-museum.jp/>



## Nobana

2月のアートの日に絵の具を使ったことをきっかけに、「絵の具って楽しい!」「アートっておもしろい!」という気づきがぐっと広がったのばなさん。アトリエに入ると「今日は絵の具やりたい」と目を輝かせて伝えてくれる姿が多く見られるようになりました。スポイトで色を垂らしたり、クエン酸と重曹を混ぜた「魔法の粉」でシユワシユワと色水を変化させてみたり…。表情は真剣そのものですが、実はその合間に自分の世界をたっぷり語ってくれます。「これはオムライス!」「何ジュース飲みますか?」と、色と遊びながら想像の世界もどんどん広がっています。また、「私のピンクを作りたい!」「なんでこの色になっちゃったんだろう」「全部混ぜると黒になるんだよ!」と色についてじっくり考えたり、発見したことを教えてくれる姿もありました。一方で、言葉を発さずにひたすら

### 色で遊ぶこどもたち



色を垂らし続ける子もいます。その表情はとても集中していて、保育者もそっと寄り添いながら見守ります。色への感性も鋭くなり、「黄色取って」と言われて近くの黄色を渡すと、「それは薄い黄色だから、あっちの黄色がいい」と微妙な違いに気づく姿もありました。子どもたち一人ひとりが自分のペースで色と向き合い、感じたままに表現していく時間。その中で生まれる小さな発見やこだわりを大切にしながら、これからも子どもたちの「アートの世界」がさらに広がっていくのを楽しみにしています。

Text by Tomomi Sugawara

## Soyokaze

### 念願のピクニックへ!

夏頃、こっこ遊びを楽しんでいたそよかせさん。ある子の「ピクニックをしよう!」という一言をきっかけに、秋にはレジャーシート作りが始まりました。自分たちで選んだ生地でレジャーシートを作り完成すると、おやつ時間に室内にレジャーシートを広げて、ピクニック気分でおにぎりを食べました。そうした経験を重ねる中で、「いつか本当にピクニックに行けたらいいね!」と話す姿も見られていました。

そして3月、ついに念願のピクニックの日がやってきました。朝から自分のおにぎりが入った袋を見せ合い、嬉しい気持ちでいっぱいの子。広場まで歩いて行くと、すぐに「おにぎり食べたい!」という声も聞こえてきました。それでも、遊び始めると夢中になる子どもたち。しかし、やはり気になるのはおにぎりのこと。ふと「おにぎりま

Text by Rika Fujita



## Komorebi

### たくさん遊んで成長したね

少しずつ暖かくなり、春の訪れを感じるこの頃。夕方の時間には、子どもたちと一緒に感触遊びを楽しんでいます。小麦粉粘土やスライム、春雨、新聞紙など、さまざまな素材に触れながら、夢中になって遊ぶ姿が見られます。夏の暑い時期にも親しんできた感触遊びですが、夏に比べて、子どもたちの遊び方には大きな成長が感じられます。以前は一人ひとりで楽しむ姿が中心でしたが、今では友だちとの関わりの中で遊びが広がり、「かして」「どうぞ」とやりとりをしたり、「イヤー!」とはっきり自分の気持ちを伝えたりする姿が見られるようになりました。

思いがぶつかり合い、涙する場面もありますが、その一つひとつが大切な成長の証だと感じています。

また、「おにぎり(おにぎり) みたいだね」「あむあむ」と見立て遊びを楽しんだり、粘土を足で踏んでみたり、春雨を頭に乗せたり(笑)と、ダイナミックな姿も健在です!

全身を使っているびびと遊ぶ姿からは、子どもたちの「楽しい!」という気持ちが真っ直ぐ伝わってきます。

この1年、沢山の素材に触れる中で、不思議そうに見つめたり、目を輝かせて遊ぶ姿が印象的でした。これからも新しい出会いや発見の中で心を動かしながら、自分らしくのびのびと遊び、成長してほしいと願っています。

Text by Miona Miyasaka



# KIDS SMILE LABO

## 第5回卒園式『やってみたいをカタチに』



2025年度、第5回目となる卒園式を開催しました。今年度の卒園児は6名。卒園式では、LABO のコンセプトでもある「やってみたいをカタチに」をテーマに、6人それぞれが時間をかけて取り組んできた卒園製作の発表を行いました。卒園式を迎えるにあたり、子どもたちに気持ちを聞いてみると、「どきどきする」「緊張する」といった声も。「大丈夫、みんなならきっとできるよ」と、担任から言葉を送り、いよいよ卒園式が始まります。入場してくる子どもたちの姿は堂々としており、これまでの成長を感じるたぐいましい姿でした。そして、一人ひとりの発表の時間。自分の「やってみたい」に向き合い、形にしてきた経験をもとに、それぞれが自分の言葉で伝えていきます。緊張した表情を見せながらも、作品を手になると自然と言葉があふれたり、好きなことを語る中で表情がやわらいていく姿が印象的でした。自信をもって堂々と話す姿、緊張しながらも最後まで伝えきる姿、身振り手振りを交えて夢中で語る姿、そのどれもに、その子らしさがあふれていました。これまでの試行錯誤やこだわり、そして「これが好き」という気持ちが、言葉や表情からまっすぐに伝わってきました。仲間が発表している間、子どもたちは別室で待機してモニターで発表の様子を見守っていました。発表を終えて戻ってきた友だちに向けて「おつかれ〜!」という声会場まで届き、思わず会場が和む場面もありました。担任が作成した卒園製作のメイキング映像と、日々のくらしの様子をまとめた動画の上映からは、製作に真剣に向き合う姿や普段の子どもたちらしいおちゃめな姿など、6人それぞれのさまざまな表情が伝わる時間となりました。卒園証書には、担任二人から想いを込めた詩。真っ直ぐな瞳でこちらを見つめながら言葉を聞く子どもたちの姿は、今でも心に残っています。LABO で過ごした時間を胸に、新しい世界へ羽ばたいてほしいという願いを込めました。また職員からは、わらべうた「めでたいな」を贈りました。今年度から始まったわらべうたの活動。担任の「やってみたい」を、卒園式で実現させていただきました。職員全員による輪唱が会場いっぱい響き渡り、6人の門出をやさしく包み込むようなひとときとなりました。4月からは、6人それぞれが違う小学校へと進んでいきます。式で歌った「ラララだいすき」の歌詞のように、自分の心に咲いたそれぞれの色の花を大切に育ててほしいと願っています。離れていても、仲間と過ごしたあたたかな時間は、きっとそれぞれの心の中にあり続けることと思います。

文 さつとん



### 「電車が大好き！広がる電車の世界」

電車のことにとても詳しい彼。駅のメロディーを口ずさんだり、「〇〇系が同じだから電車の顔のデザインが似ているんだよ」「〇〇駅では〇〇に乗り換えるんだよ」と、製作の過程でも電車への愛をたくさん話してくれました。今回は大好きなポータラムと荒川線を立体製作、半蔵門線、山手線、横須賀線、荒川線をイラストで描きました。将来は「電車の写真を撮る」のが夢。発表では、手作りの電車と自分で描いた電車の絵を見せながら、その魅力をいきいきと語る姿が印象的で、彼の中に広がる世界の豊かさや伝えることの楽しさを感じられました。



### 「夢の救急救命士へ」

「大きくなったら救急救命士になりたい」という夢から救急車と救命士の服を製作。街には救急車が1台だけではないからと、2台作るとの言葉から夢への情熱が感じられました。細かなデザインまで本物をイメージし、後ろが開くしくみも再現。救命士の服づくりでは裁縫に挑戦。実際の救急救命士さん写真を見ながら名札やポケット、階級章、肩章をこだわって製作しました。縫う工程で苦戦する姿もありましたが、難しいことにも挑戦し、最後まで仕上げることができました。夢に向かうまっすぐな思いが、作品全体に溢れています。



### 「自分の手で作った剣」

この1年、さまざまなものに興味を持ち続けてきた彼。卒園製作では「剣を作りたい」という思いを形にしました。木を切る場面では大小さまざまなこぎりを試しながら、根気強く自分の力で切り進めていました。剣の鍔（つば）を作る際には電動ドリルにも挑戦し、自分の手で穴をあけて仕上げていきました。柄（つか） 鍔（つば） 刃、の3つのパーツづくり。3つのパーツそれぞれにこだわりを持ち、形やバランスを考えながら作り進め、最後はそのすべてを繋ぎ合わせて一つの剣に仕上げました。当日は、かっこいいポーズを決めながら、自信に満ちた姿を見せてくれま



### 「自分だけのクリーパーロボット」

大好きなロボットに、お気に入りのソードや爆弾を装備し、「爆破スイッチ」や「扇風機をつけて飛べるようにする」とプロペラやボタンも付けて、自分なりの発想をたくさん詰め込んだクリーパーロボットを作りました。苦手意識のあった絵の具にも挑戦し、特に頭の部分は細部まで丁寧に仕上げています。大きさや見えない部分にも「絵の具を塗りたい」と丁寧に取り組む姿が印象的でした。沢山悩んで決まった今回の活動。最後は自分の中の「やってみたい」を見つけ、それを形にしていく過程に、彼らしい粘り強さと発想の豊かさを感じられる作品となりました。



### 「はじめてのドレスづくり」

LABO で生活する中で裁縫に興味を持ち、「ドレスを作りたい」想いを形にしました。実際に布を選ぶ中でイメージが広がり、当初のデザインから自分の目で見て選んだピンクと深い緑の布、「キラキラした水色も重ねたい」という想いも重ねてデザインを決めました。しま模様になるよう根気強く縫い進め、色の組み合わせや重なり方にも、こだわりがたくさん詰まっています。最初は縫い目の幅が大きかったものの、繰り返す中で細かく縫えるようになりました。自分の手で仕上げた一着には、丁寧さと根気強さ、そして「好き」がしっかりと表れています。将来は「ようふくやさん」になりたいという夢につながる、想いのこもった作品となりました。



### 「生き物への大好きを切り紙に」

日ごろから生き物への強い愛情を持ち、みんなからも生き物といえ！と慕われている彼。名前だけでなくそれぞれの生態についても詳しく教えてくれます。その溢れる「好き」の気持ちを、「切り紙」に形を変えて表現しました。卒園までに作った切り紙はなんと83匹。当日は彼自身でそれぞれの生き物たちを会場に配置し、彩りました。将来は海洋生物学者になりたいという夢を持ち、発表ではお気に入りの作品について、生き物の名前だけでなく、その暮らしや特徴を紹介してくれました。生き物への探究心と表現する楽しさが、作品いっぱい広がっていきました。



## 会場を彩る装飾 Decorations for the graduation ceremony



今年度も、厚木にある〈約束の花束〉さんに装花をお願いしました。装花のテーマは『芽吹きと成長を感じる春の先取り』。春の花々を中心に芽吹きとぐんぐん伸びる成長を感じられる装いになっています。KIDS SMILE LABO から徒歩5分ほどのお花屋さん。ぜひ足を運んでみて下さいね。

約束の花束

神奈川県厚木市中町 3-8-6 ヴァンテール本厚木 1階  
yakusoku-no-hanataba.com



会場の壁面をだいちクラスの子どもたちの「今」と「将来」の絵が彩りました。他にもお別れ会のときにおおぞら、みなもクラスからプレゼントでもらった「だいちさんに贈りたい絵」も飾りました。卒園アルバムにも心温まるイラストたちは掲載してありますよ。